

- ▶ 森林環境譲与税を財源として、森林経営管理制度に基づく意向調査を実施。
- ▶ 令和2年度においては、西区域（大字山鹿の一部及び田尻の一部）の意向調査を行った。
 - ・ 森林の現況調査面積：477.28ha
 - ・ 現況調査を行った森林のうち、「森林施業の必要がある」と判断した226.41haの森林所有者に対して、意向調査を実施し、不在地主の特定や森林整備箇所の把握に繋がった。
- ▶ 令和3年度においては、この調査結果をもとに、林業経営者に再委託可能な森林は再委託を行うほか、採算ベースにのらない森林については、村が間伐等を実施する予定。

□ 事業内容

1 森林の現況調査の実施

- ・ 過去に森林経営計画が作成されていない森林を対象に、現況調査を実施。森林の状況について、「過密」、「過疎」、「良好」の3段階で確認を行った。森林施業の必要性については、「緊急に施業する必要がある」「必要がある」「必要がない」の3段階に区分し、データ化を実施。
- ・ 令和2年度は、西区域の現況調査を行った。

【実績】西区域森林総面積1,808.43ha 現地調査面積477.28ha

2 森林所有者への意向調査の実施

- ・ 現況調査を行った森林のうち、「施業の必要がある」と判断した森林226.41haの森林所有者に対し、今後の森林の経営管理の意向を調査。

【事業費】1,598千円（全額譲与税）

【実績】意向調査面積 226.41ha



（事業1：森林現況調査の様子）

（事業2：意向調査票）

□ 基礎データ

①令和2年度譲与額	6,700千円
②私有林人工林面積（※1）	2,068.50 ha
③林野率（※2）	69.4%
④人口（※3）	1,424人
⑤林業経営体数（※4）	73経営体

（参考）※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」
 ※2,4：「2015農林業センサス」※3：「熊本県推計人口調査」（調査日R1.10.1）